

平成25年度 航空機生産・輸出・受注額見通し

(一社)日本機械工業連合会が実施する「平成25年度機械工業生産額見通し調査」に関する調査依頼を受け、当工業会は会員企業25社の協力を得て「航空機生産・輸出・受注額見通し」の調査を実施した。

21年度に1兆円を下回った生産額は、今回の調査で増加傾向がより確かなものとなっていることが確認された。その要因としては、24年度及び25年度ともBoeing777や787等民間機向けの生産増等が挙げられる。両年度の生産額は、ピークとなった19年度生産額を上回るとともに、特に25年度は1兆3,000億円を超える大幅な生産額増となる見通しとなった。

また、21年度に1兆円割れに落ち込んだ受注額は回復し、1兆2,000億円台を維持していることが確認された。その要因としては、24年度が防衛航空機向け機体部品の増と民間機向け(Boeing777や787等)の増によるもの、25年度はF-35戦闘機の機体やエンジンの新規受注によるものであり、今後の航空機生産の増加が期待される。

調査結果の概要について、以下に記す。

1. 生産額

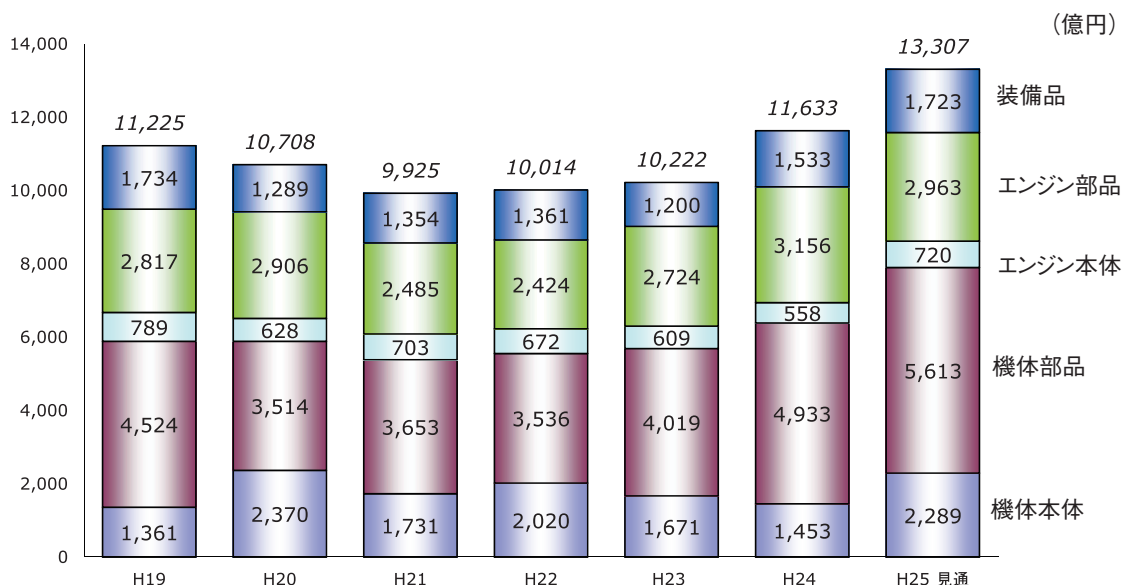
(1) 全般

◇「24年度実績額」は1兆1,633億円で前年

比1,411億円(13.8%)の増となった。

◇「25年度見通し額」は1兆3,307億円で前年比1,674億円(14.4%)増の見通し。

生産額の長期推移



生産額の長期推移

(単位：億円)

区分\年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25見通
機体本体	1,361	2,370	1,731	2,020	1,671	1,453	2,289
機体部品	4,524	3,514	3,653	3,536	4,019	4,933	5,613
(小計)	(5,885)	(5,883)	(5,384)	(5,556)	(5,690)	(6,387)	(7,902)
エンジン本体	789	628	703	672	609	558	720
エンジン部品	2,817	2,906	2,485	2,424	2,724	3,156	2,963
(小計)	(3,606)	(3,535)	(3,188)	(3,096)	(3,332)	(3,714)	(3,682)
装備品	1,734	1,289	1,354	1,361	1,200	1,533	1,723
計	11,225	10,708	9,925	10,014	10,222	11,633	13,307

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない。

(2) 内訳

①機体関連

◇24年度は、「機体本体」が防衛省向けF-2戦闘機の機数減等により218億円減の1,453億円、「機体用部品」がBoeing向け777及び787用部品の増等により914億円増の4,933億円で、「機体合計」では、697億円増の6,387億円となった。

◇25年度は、「機体本体」が防衛省向けヘリコプターの増等により836億円増の2,289億円、「機体用部品」がBoeing向け777及び787用部品の増により680億円増の5,613億円で、「機体合計」では、1,515億円増の7,902億円の見通しである。

②エンジン関連

◇24年度は、「エンジン本体」が防衛省向けエンジンの減等により51億円減の558億円、「エンジン用部品」が海外及び防衛省向け部品の増により432億円増の3,156億円で、「エンジン合計」では、382億円増の3,714億円となった。

◇25年度は、「エンジン本体」が防衛省向けエンジンの増により162億円増の720億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の減により193億円減の2,963億円で、「エンジン合計」では、24年度とほぼ同じ水

準の3,682億円の見通しである。

③装備品

◇24年度は、防衛省向けF-15近代化改修用電子機器等の増により、333億円増の1,533億円となった。

◇25年度は、民間機向け内装品や防衛向け各種装備品の増により、190億円増の1,723億円の見通しである。

2. 輸出額

(1) 全般

◇「24年度実績額」は6,657億円で前年比1,112億円(20.1%)の増となった。

◇「25年度見通し額」は7,307億円で前年比650億円(9.8%)増の見通し。

(2) 内訳

①機体関連(機体用部品のみ)

◇24年度は、Boeing向け777及び787用部品の増により834億円増の3,713億円となった。

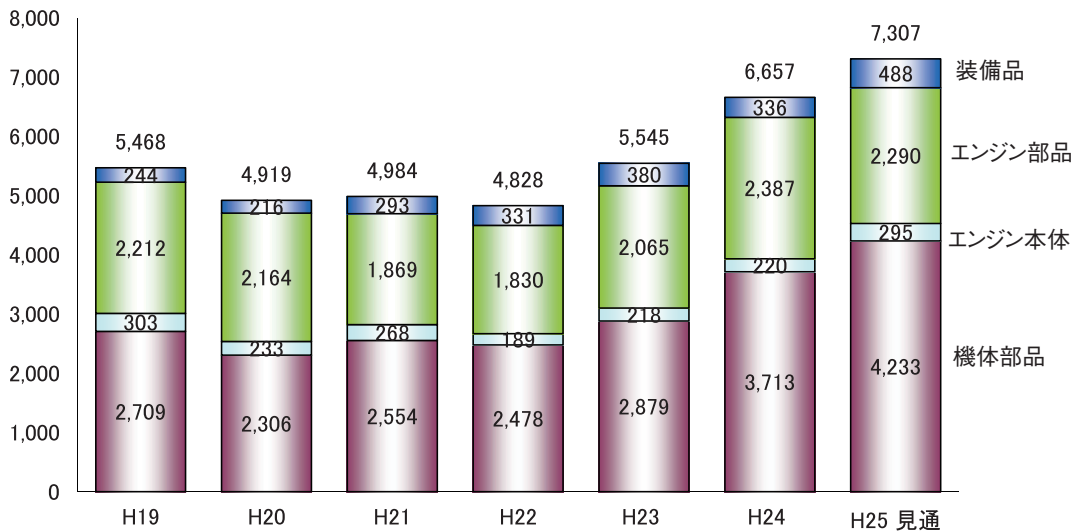
◇25年度は、Boeing向け777及び787用部品の増により520億円増の4,233億円の見通しである。

②エンジン関連

◇24年度は、「エンジン本体」が23年度とほぼ同じレベルの220億円、「エンジン用

輸出額の長期推移

(億円)



輸出額の長期推移

(単位：億円)

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25見通
機体本体		0	0	0	0	3	0	0
機体部品		2,709	2,306	2,554	2,478	2,879	3,713	4,233
(小計)		(2,709)	(2,306)	(2,554)	(2,478)	(2,882)	(3,713)	(4,233)
エンジン本体		303	233	268	189	218	220	295
エンジン部品		2,212	2,164	1,869	1,830	2,065	2,387	2,290
(小計)		(2,515)	(2,397)	(2,137)	(2,019)	(2,283)	(2,608)	(2,585)
装備品		244	216	293	331	380	336	488
計		5,468	4,919	4,984	4,828	5,545	6,657	7,307

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない。

部品」が海外向け部品の増により322億円増の2,387億円で、「エンジン合計」では、325億円増の2,608億円となった。

◇25年度は、「エンジン本体」が海外向け修理の増等により75億円増の295億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の減により97億円減の2,290億円で、「エンジン合計」では、24年度とほぼ同じ水準の2,585億円の見通しである。

③ 装備品

◇24年度は、円高による外貨建て輸出額の

減により44億円減の336億円となった。

◇25年度は、民間機向け内装品の増により152億円増の488億円の見通しである。

3. 受注額

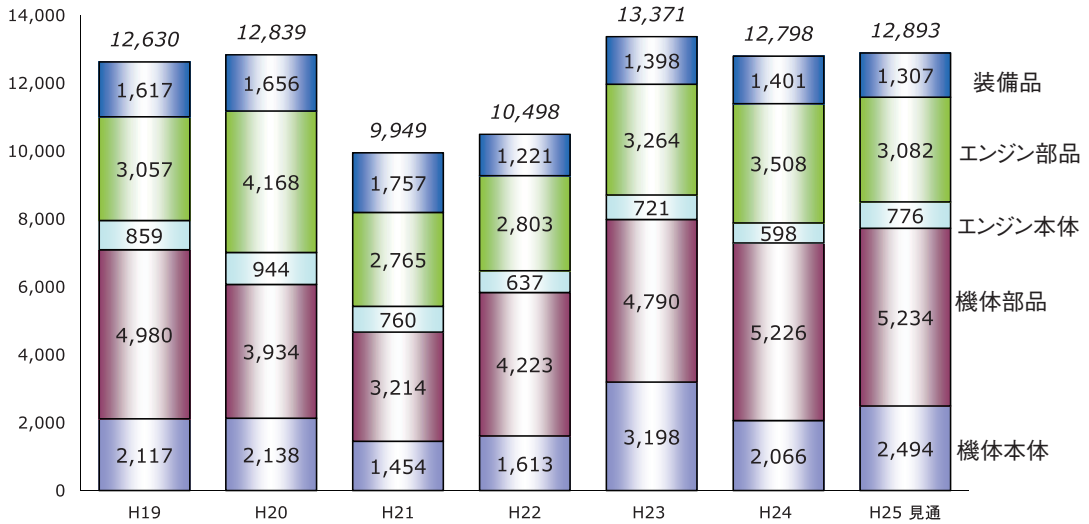
(1) 全般

◇「24年度実績額」は1兆2,798億円で前年比573億円(4.3%)の減となった。

◇「25年度見通し額」は1兆2,893億円で前年比95億円(0.7%)増の見通し。

受注額の長期推移

(億円)



受注額の長期推移

(単位：億円)

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25見通
機体本体		2,117	2,138	1,454	1,613	3,198	2,066	2,494
機体部品		4,980	3,934	3,214	4,223	4,790	5,226	5,234
(小計)		(7,097)	(6,072)	(4,668)	(5,837)	(7,988)	(7,292)	(7,728)
エンジン本体		859	944	760	637	721	598	776
エンジン部品		3,057	4,168	2,765	2,803	3,264	3,508	3,082
(小計)		(3,917)	(5,112)	(3,525)	(3,440)	(3,985)	(4,106)	(3,858)
装備品		1,617	1,656	1,757	1,221	1,398	1,401	1,307
計		12,630	12,839	9,949	10,498	13,371	12,798	12,893

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない。

(2) 内訳

①機体関連

◇24年度は、「機体本体」が防衛省向けC-2輸送機の機数減等により1,132億円の大幅減で2,066億円、「機体用部品」が防衛省向け部品の増等により436億円増の5,226億円で、「機体合計」では、696億円減の7,292億円となった。

◇25年度は、「機体本体」が防衛省向けF-35戦闘機の新規受注等により428億円増の2,494億円、「機体用部品」が24年度とほ

ぼ同じ水準の5,234億円で、「機体合計」では、436億円増の7,728億円の見通しである。

②エンジン関連

◇24年度は、「エンジン本体」が防衛省向けエンジンの減により123億円減の598億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の増により244億円増の3,508億円で、「エンジン合計」では、121億円増の4,106億円となった。

◇25年度は、「エンジン本体」が海外向け

修理の増により178億円増の776億円、「エンジン用部品」が海外向け部品の減により426億円減の3,082億円で、「エンジン合計」では、248億円減の3,858億円の見通しである。

③装備品

◇24年度は、23年度とほぼ同じ水準の1,401億円となった。

◇25年度は、F-15近代化改修用レーダー等を中心に94億円減の1,307億円の見通しである。

<調査対象企業：25社>

IHI、KYB工業、川崎重工業、小糸製作所、島津製作所、ジャムコ、昭和飛行機工業、シンフォニアテクノロジー、新明和工業、住友精密工業、東京計器、東京航空計器、東芝、ナブテスコ、日本航空電子工業、日本電気、日本飛行機、日立国際電気、富士重工業、三菱重工業、三菱電機、三菱プレシジョン、横河電機、横河電子機器、横浜ゴム

〔(一社)日本航空宇宙工業会 業務部長 杉原 康二〕